

2006 年度

科目名	対象学科・学年 研究科国語(前)1 回生 研究科国語(後)1 回生	担当者	
国語学演習		宇都宮啓吾	
授業テーマ 日本語史料の基礎的研究			
授業の概要と目標 日本語の歴史とその文化的背景の問題について考察します。そのため、日本語史研究の対象となる文献、歴史的背景や文化・宗教的な背景に関しても検討します。これらの問題について、演習形式での発表を取り入れます。			
評価方法 授業の出席日数と課題提出、課題への取り組み、レポートで総合的に評価します。			
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社	
参考書	著者	出版社	
授業スケジュール・内容 前期については、教員の側で日本語史を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、 1、 問題提起 2、 問題解決の方法 3、 問題解決の手続き 4、 結論 という形で発表をして下さい。			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	前期の講義計画・評価方法等の説明
	2	日本語史研究の意義	日本語史研究から何がわかるか。
講義①	3	日本語の歴史と仏教	日本語の歴史に於ける仏教の影響について
	4		
	5		
	6		
講義②	7	日本語史料①	訓点資料を中心とした言語研究の諸問題 ：訓点資料とは 訓点資料の価値 角筆文献
	8		
	9		
	10		
講義③	11	日本語史料②	国語辞書・注釈書を巡る諸問題 ：国語辞書の歴史 ：注釈書・伝授資料を巡る問題
	12		
	13		
演習 討論	14 ～ 28	各人個別の研究発表と討論	各人にテーマを設定して、発表と討論を行なう。
総括	29・30	講義の総括	講義の総括